

連合福島『新型コロナウイルス感染症対策本部』ニュース

2020年3月13日（金） 第2号

■連合福島構成組織の皆さまへ「連合福島会長メッセージ」

各構成組織ならびに単組・組合員皆さまの2020春闘を始めとした連日のご奮闘に敬意を表します。特に、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会・経済の混乱と影響により、苦心惨憺の取り組みを強いられています。

既に、11日の集中回答日では要求と隔たりはあるものの、極めて困難な状況のもとで、組合員の努力による賃金引上げの流れを維持できていると受け止めています。

社会全体が萎縮し、閉塞感に覆われそうな中で、賃上げを始めとした処遇改善の流れを引き続き繋ぎ、そして広げる必要性は強まっています。

連合福島はコロナ対策に関し、行政・経営者団体等に充実強化策を求めながら、交渉をし易い環境や条件整備を図ります。

今後、交渉ヤマ場を迎える構成組織ならびに単組・組合員の皆さまのご奮闘を期待します。共に、頑張ろう。

2020年3月13日

連合福島

会長 今野 泰

■新型コロナウイルス対策・2020春季生活闘争について要請

連合福島は、3月12日（木）福島労働局に、新型コロナウイルス感染症対策を含めた2020春闘要請を行いました。今野会長から、「今春闘は、昨年の消費増税による消費の落ち込みを挽回するために、しっかりと結果を残す取り組みを行っていく」としながらも、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により経済ばかりか社会全体にまで影響が拡大しかねないことから「困難な時期であるからこそ、行政、企業、働く者が一体となってこの課題に向かわなければならない。」とあいさつし、労働局岩瀬局長からは、「引き続き協力しながら取り組みを進めたい。」とあいさつをいただきました。

翌3月13日（金）には、福島県経営者協会、福島県商工会連合会に対して要請行動を行いました。

それぞれの団体からは、新型コロナウイルス感染症が、福島県内の企業に大きなダメージとなっていることが伝えられ、困難を乗り越えるためには、労使の協力が不可欠との意見が出されました。

連合福島は、今後も県内の情勢を連合本部、国、県に伝えるとともに、新たな支援策などの情報が入れば逐次発信に努めることとします。



連合福島 今野会長 福島労働局 岩瀬局長



経営者協会 笠原会長 高萩副会長

■新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆さまへ

経済産業省HPに、事業者向けの各種支援制度や相談窓口等、分かりやすくまとめたパンフレットが掲載されていますので、企業側への情報提供や新型コロナウイルス対応における労使協議等に活用願います。

◎経済産業省HP

「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」パンフレット

<https://www.meti.go.jp/covid-19/>

この他、福島県HP・福島労働局HPで各種相談窓口やコロナウイルスに関係する情報が確認できます。

新型コロナウイルス感染症

ちょっと知りたい！こんな時どうなるの？

新型コロナウイルスの1日も早い終息を願うばかりですよね。連合福島構成組織の皆さまにご協力を頂き、コロナウイルスへの対応状況について調査を実施させていただきました。その中でマスクやアルコール消毒液が不足しているとの声が多く寄せられました。

県内の状況を見ますとマスクの入手は非常に困難のようですが、代替となる消毒液は身近にあるもので簡単に作ることができますので、作成方法について分かりやすく説明します。

厚生労働省によると、新型コロナウイルスの対策として「次亜塩素酸ナトリウム」での消毒が有効とされています。ご存じの方も多いと思いますが、次亜塩素酸ナトリウムは「家庭用塩素系漂白剤」に含まれています。

よって



と、ご家庭にある



があれば簡単に作れます

会社や家庭で「手に触れる場所」への消毒は0.05%の濃度で十分と言われていますので・・・

- 500mlのペットボトルなら、水500mlに **ペットボトルの蓋 1杯** の「漂白剤」をいれます
- 2lのペットボトルなら、水2lに **ペットボトルの蓋 4杯** の「漂白剤」を入れます

よく混ぜれば完成！気になるところにスプレーし、タオルでふき取るだけで除菌完了です

※注意 手指への直接的な消毒には使えません

◎お問い合わせ先

連合福島組織広報局・遠藤、渡邊

電話：024-522-0500 メール：rengo-fukushima@bz01.plala.or.jp